

**製品名: ITPA ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe02160**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.29mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 21 kDa; Observed MW: 21 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ITPA
別名	My049; ITPase; NTPase; C20orf37; dJ794I6.3; HLC14-06-P
遺伝子 ID	3704
SwissProt ID	Q9BY32
免疫原	ヒトイノシン三リン酸ピロホスファターゼの合成ペプチド

**背景**

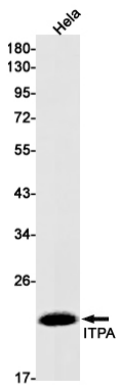
非標準的なプリンヌクレオチドであるイノシン三リン酸 (ITP)、デオキシイノシン三リン酸 (dITP)、2'-デオキシ-N-6-ヒドロキシ

アミノプリン三リン酸 (dHAPTP) 、およびキサントシン 5'-三リン酸 (XTP) を、それぞれのーリン酸誘導体に加水分解するピロホスファターゼ。この酵素はデオキシ型とリボース型の区別をしません。おそらく、RNA および DNA 前駆体プールから非標準的なプリンを排除することで、RNA および DNA への取り込みを防ぎ、染色体損傷を回避していると考えられます。

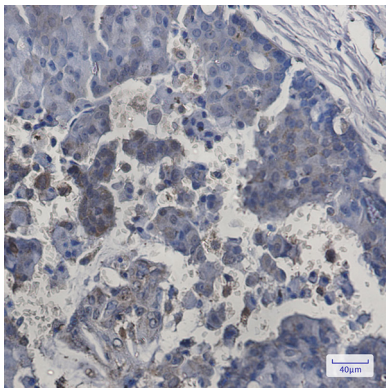
## 研究分野

-

## 画像データ



ITPA 抗体を使用した HeLa 溶解物中の ITPA のウェスタン ブロット分析。



イノシン三リン酸ピロホスファターゼ抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。